令和４年８月２０日

**森林総合研究所見学と伏見散策**

午前中は国立森林総合研空所関西支所を見学し、午後は桓武天皇陵・明治天皇陵（伏見桃山陵）・乃木神社･御香宮神社等、伏見桃山丘陵の散策を行います。

**日　時**　令和４年９月９日（金）

**集　合**　近鉄丹波橋・京阪丹波橋駅　１０時　　＊**近鉄丹波橋駅改札口前集合**

　　　　　　＊近鉄丹波橋駅と京阪丹波橋駅は、並んであります。

　　　　最終、下記の　① 又は ② 又は　③ の電車を利用してください。

1. 京阪淀屋橋９時００分発特急出町柳行 → 京橋9時０７分　→　丹波橋９時３９分

**＊淀屋橋９時１０分発の快速特急（洛楽）出町柳行きは、丹波橋には止まりません。**

1. 近鉄京都　９時４６分発急行橿原神宮前行　→　丹波橋　９時５５分
2. 近鉄西大寺９時２５分発急行京都行　→ 丹波橋　９時５６分

**コース**　午前　　近鉄丹波橋駅から徒歩２０分で森林総合研究所

１０時２０分～１１時５０分　森林総合研究所見学

　　　　午後　　森林総合研究所（１５分）　→　桓武天皇陵（１０分）→

伏見桃山城運動公園（昼食）（２５分） → 明治天皇陵（２０分）→

乃木神社（１５分）　→ 御香宮（５分）　→　近鉄伏見桃山駅・京阪伏見駅

**その他**

　　１．弁当を持参してください

　　２．**雨天中止**　前日の１８時前のＮＨＫの天気予報で大阪府の降水確率が５０％以上の

　　　　　　　　　場合は中止とします。　中止の場合は、１９時までにメールで連絡します。

* **森林総合研究所関西支所**

森林総合研究所では、森林・林業に関する研究が行われています。

近年、社会経済の変化に伴い、里山などの森林の劣化や貴重な森林生態系の断片化がみられます。さらに、今日では木材生産だけでなく、自然環境保全など森林に対する期待は一層高まり、多様化しつつあります。  
そこで、生物多様性保全、環境保全、木材生産などの多様な機能が発揮されるメカニズムを解明し、森林と人間社会との望ましい関係を見いだしつつ、森林の総合的な管理手法の開発をめざした、研究が行われています。さらに、地球温暖化のような全国的・国際的な問題にも取り組まれています。

　　また、森林総合研究所関西支所の中には、森の展示館 や　樹木園があります。

* **伏見桃山城運動公園**

かつて、この場所には「[伏見桃山城キャッスルランド](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BC%8F%E8%A6%8B%E6%A1%83%E5%B1%B1%E5%9F%8E%E3%82%AD%E3%83%A3%E3%83%83%E3%82%B9%E3%83%AB%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%83%89)」が営業していましたが、２００３年に閉園しました。この時に模擬天守も取り壊される予定でしたが、地元住民の要望から残されることになりました。その後、２００４年から京都市により運動公園の整備が始まり　　　２００７年４月１日オープンしました。

* **桓武天皇柏原陵**

　　桓武天皇柏原陵の正式な場所は不明です。現在の陵墓は考証の結果、明治時代に治定されたものです。桓武天皇柏原陵は、伏見山中にあって、仁徳陵より広大だったと記録に残っていますが、鎌倉時代から室町時代の動乱期に所在不明になりました。その後、豊臣秀吉がこの一帯に伏見城を築城したことで、もっとわからなくなったのです。

　　現在では、明治天皇陵の近くにあったされています。

* **明治天皇陵（伏見桃山陵）**  
  明治天皇陵の敷地の[桃山](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%A1%83%E5%B1%B1)は、[豊臣秀吉](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%B1%8A%E8%87%A3%E7%A7%80%E5%90%89)の築いた[伏見城](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BC%8F%E8%A6%8B%E5%9F%8E)の[本丸](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9C%AC%E4%B8%B8)跡地です。京都に墓所が営まれたのは明治天皇の遺言によるものです。すぐ東には皇后である[昭憲皇太后](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%98%AD%E6%86%B2%E7%9A%87%E5%A4%AA%E5%90%8E)の伏見桃山東陵が隣接しています。また、[桓武天皇](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%A1%93%E6%AD%A6%E5%A4%A9%E7%9A%87)の[柏原陵](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%A1%93%E6%AD%A6%E5%A4%A9%E7%9A%87#%E9%99%B5%E3%83%BB%E9%9C%8A%E5%BB%9F)にもほど近く、周囲一帯は[宮内庁](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%AE%AE%E5%86%85%E5%BA%81)の管理地「桃山陵墓地」となっています。墳丘は古式に範を採った[上円下方墳](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%8A%E5%86%86%E4%B8%8B%E6%96%B9%E5%A2%B3)で、下段の方形壇の一辺は約60メートル、上段の円丘部の高さは約6.3メートル、表面には[さざれ石](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%81%95%E3%81%96%E3%82%8C%E7%9F%B3)が葺かれています。上円下方墳の墳形は[天智天皇陵](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%BE%A1%E5%BB%9F%E9%87%8E%E5%8F%A4%E5%A2%B3)がモデルにされたそうです。また、[幕末](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B9%95%E6%9C%AB)の[孝明天皇](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%AD%9D%E6%98%8E%E5%A4%A9%E7%9A%87)についで火葬にせず、[天武天皇](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A9%E6%AD%A6%E5%A4%A9%E7%9A%87)以前の古制に戻したそうです。
* **御香宮神社**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　御香宮神社は、[神功皇后](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A5%9E%E5%8A%9F%E7%9A%87%E5%90%8E)を主[祭神](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A5%AD%E7%A5%9E)とし、夫の[仲哀天皇](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BB%B2%E5%93%80%E5%A4%A9%E7%9A%87)、子の[応神天皇](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%BF%9C%E7%A5%9E%E5%A4%A9%E7%9A%87)ほか六神を祀る。神功皇后の[神話](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A5%9E%E8%A9%B1)における[伝承](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BC%9D%E6%89%BF)から、安産の神として信仰を集めています。　　　　　　　　　　初めは「御諸神社」と称し、[貞観](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%B2%9E%E8%A6%B3_(%E6%97%A5%E6%9C%AC))４年（８６２年）に社殿を修造した記録があります。　　　伝承によるとこの年、境内より良い香りの水が湧き出し、その水を飲むと病が治ったので、時の[清和天皇](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B8%85%E5%92%8C%E5%A4%A9%E7%9A%87)から「御香宮」の名を賜ったといわれています。この湧き出た水は「**御香水**」として[名水百選](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%90%8D%E6%B0%B4%E7%99%BE%E9%81%B8)に選定されています。
* 乃木神社　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　乃木神社は、乃木希典命とその賢婦人であられた乃木静子命を鎮め祀る神社です。　　　　当神社は、神戸・大阪・京都など近畿圏をはじめ、全国各地の、乃木大将を尊崇する人々の尽力により、大正５年（１９１６）９月に創建されました。　　　　　　　　　　　　　　境内地は、もとは皇室の御料地でありましたが、当神社を創建した村野山人翁をはじめ、建立を熱願した政財界人、軍人などの尽力と、時の政府の理解によって特別に建設が許されました。